　なぜ勉強するのだろう？

感受性を豊かに（四十四）

感受性を豊かに（四十二）

　【インドでは…】

　私はインドへは行ったことがないので、前の職場の同僚から聞いた話です。彼がある寺院へ行こうと地図を片手にキョロキョロしていると、現地に人に声を掛けられたそうです。何語でコミュニケーションを取ったのかは分かりませんが、「○○へ行きたい」ことを告げると、「ついてこい」と言われたそうです。彼は、その人の後をついて歩いたけれども、歩けど歩けど目的の寺院には着かず、不安に思っていたそうです。２時間ほどたったとき「着いたぞ」。彼が感謝の言葉を言おうとするより前に、現地の人がとても熱く感謝の言葉を語り始めたたので驚いたそうです。日本風に言えば、「徳を積ませてもらってありがとう」ということなのかも知れません。

　このようなことは遠い国の話ではなく、身近にもあります。釧路の学校に赴任したときには東京から引っ越しをしたのですが私の方が荷物より先着してしまい、とリあえず職場への挨拶を済ませた後、、さて今晩泊まるホテルでも探すか、と思っていると、「なんも、ウチに泊まればいいっしょ」と後に同僚になる人が声を掛けてくれました。私は見ず知らずの人を泊めてくれるような文化に育っていなかったので、遠慮していると、更にしきりに誘ってくれます。その晩は、その人の家に泊めてもらい、仲間を迎えて宴会まで催してくれました。その後も、まだ車を持っていなかったので、家電製品を買うのに付き合ってもらったり、ストーブを貸してくれたり、ずいぶんと助けてくれました。同じような場面では、自分も同じことをしようと心に決めました。



*あしたのために*

*for tomorrow*

***April 9, 2012→March 1, 2015***

*その９ June 3, 2013*

北海道小樽潮陵高等学校

*２年E組学級通信　発行者：中矢秀人*

この学級通信は､君たちと私の明日のために、週１回発行する予定です。

　前号でも少し触れたが、この問は多くの学生・生徒にとって共通のものだろう。学習に関して、まったくダメな高校生だった私は、この問について考えるふりをして、勉強しない言い訳に使っていたと今なら分かる。そして、高校時代には無知であるが故に気づかなかったが、この問そのものが､この問に対する答にもなるのだ。「それが分からないから勉強をするのだ」と。

小論文模試について

　こちらもバタバタしていて、地に足がついていないのだけれども、６月１０日(月)７時間目に行います。まずは、「小論文ステップノート」未提出の人は、大至急提出してください。

見学旅行　クラス研修について

　５／２９（水）のLHRでコースを決定しました。高体連地区大会などで不在の生徒もいましたが、事後承諾してください。

**□（清水寺）→北野天満宮→金閣寺→東映太秦映画村→京都駅→**

**各グループ別研修**

　あとは旅行会社の方からのアドバイスなども頂いて、修正しながら決定となります。

遠足のバーベキュー代を集めています

　バーベキュー代として、現在１０００円を集めています。朝のＨＲまでに会計に渡してください。６月６日(木)までによろしくお願いします。

　中止の際には通常授業となりますが、その判断は午前６時となっています。中止決定後、遠方の生徒には真っ先に連絡を入れますが、その時刻すでに家を出なければならない生徒は自分でも判断してください。私からは各掃除の班のリーダーに連絡を入れますので、グループ内で連絡を取れるようにしておいてください。各班のリーダーは次の通りです。

***１班…大久保さん、２班…小菅さん、３班…八木君***

***４班…小島君、５班…中島君、６班…野宮君***

　私の弟子である佐々木寛先生は、今どん欲に学んでいる。英語の朝の小テストをいつも受け、得点は聞いていないけれども、４月から続けている。英語Ⅱのリスニング用ＣＤも購入し、このままでは定期考査も受けそうな勢いだ。また、自分の授業が空いているときにはＢ組の生徒にまじって数学の授業を受けているという。何を目指しているのか師匠の私でさえも分からないが、何か思うところがあるのだろう。だから今度聞いてみるとよい。「何で勉強しているのか？」と。ちなみにそのＣＤは熊谷先生も購入した。

　私は高校時代、世界史を選択していたが、まったく出来が悪く、３年の夏休み前ぐらいに何人か集められ、「明日からおまえたちは地理をやれ」と、突然勉強する科目を変えられてしまった。今ならきっとそんなことは許されないことだと思うが、(当時でも？)「興味があったから世界史を取ったんだけどなぁ～」思いながらも言われるがままに、その後は地理の勉強をした。一度は挫折をした世界史だが、数年前から『ローマ人の物語』(塩野七生著)を読み始めている。遅々として進まないところはあるが、難しい固有名詞やややこしい年号など覚える気はサラサラないから、楽しく読めている。いや、物語を楽しんでいると言うべきか。文庫本で４０巻以上あるから今後もまだまだ楽しめそうだ。

　右の記事は「スポーツと体罰」について、メジャーリーグでも活躍した長谷川滋利氏が書いたものだが、スポーツの意義について述べている。「スポーツの意義の一つに困難を克服する達成感があるため」であると。このスポーツのところには何を入れても通じると思う。勉強･人生・etc.もしかしたら、君たちが今勉強しているのだって、コンテンツ(中身)を覚えることよりも、むしろ、「困難を克服する」ためのノウハウの方に重心があるのかも知れないとも思える。色々書きましたが今日言いたいのは「テスト頑張れ」ということです。